

北総モラールアップ通信

チーム北総 思いを伝えるチーム ～和・輪・話～



最近ではやっとな朝晩の冷え込みが気になったのもつかの間、師走が目前と迫ってきました。

学校は、1年間の折り返しを過ぎ、様々な教育活動において多くの成果を出していることと思います。このことは、日々の学校における指導の積み重ねや保護者・地域との連携によるものが多くあり、一朝一夕でできるものではありません。学校訪問をとおして、前例踏襲の姿勢ではなく、目の前の子供たちのために教育効果をあげるための取組を行う学校をたくさん見させていただきました。そのような学校や先生方に、子供たちは魅力を感じ、信頼し、自分たちもさらに力を発揮しようと意欲を持つはずです。子供たちの意欲を高める教育活動を行うためには、先生方の心と体の健康は必須条件です。これからの季節、感染症も気になりますが、朝、最高の笑顔で子供たちを迎え、元気に子供と向き合うことができるようよろしくお願いいたします。

【今月のテーマ】

「心と体の健康を保とう!!!」

～働き方改革の目的と取組の確認～

5月27日から11月15日までの期間で北総管内231校の学校訪問が終了しました。訪問に際し、授業準備、環境整備、書類の点検等大変ありがとうございました。先生方の「働きやすさ」や「やりがい」を引き出す取組をしている学校も増えてきています。好事例につきましては、ぜひ多くの学校で共有していただきたいと思えます。

さて、昨年度の第4号で、中央審議会が令和5年8月28日に提言した「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策」から取組の具体策を確認しました。働き方改革については、各教育委員会、各学校で実態に応じながら取り組んでいただいているところですが、改めて学校における働き方改革の目的の確認と、すぐに取り組める働き方改革について紹介します。

1 学校における働き方改革の目的

教職員が心身ともに健康を保つことができる環境を整え、子供たちの成長に真に必要な、効果的な教育活動を持続的に行うことができるようにする。

働き方改革は、教職員一人一人が心身共に健康で、心にゆとりを持ち、公私ともに充実した時間を過ごすことで自身の人間性や創造性を磨き、授業やその準備に集中できる時間や自らの専門性を高めるための研修の時間を確保することです。その結果、質の高い教育を実現でき、子供たちの成長に真に必要な、効果的な教育活動を持続的に行うことが可能となり、子供たちの成長に良い影響となって還元されます。

学校における
働き方改革推進プラン千葉県教育委員会
令和6年3月改定学校における
働き方改革推進プラン
(令和6年3月改訂)

2 すぐにできる学校の具体的取組

学校の具体的取組のなかですぐに取り組めるものとして「ア 学校運営体制の充実」の【取組4】を紹介し、この取組は「校長は、働き方改革の優れた取組について情報収集し、好事例を積極的に取り入れ、学校の実情に応じて活用する。」というもので、令和5年度の達成率は61%でした。取組達成の判断基準は以下のように設定されています。

【取組達成の判断基準】

- 教育委員会等が発信する先進事例等について情報収集を行っている。
- 好事例を積極的に取り入れ、業務の効率化を推進している。
例：全国の学校における働き方改革事例集、チェックシート 等
- 1年単位の変形労働時間制の実施について、職員への制度理解と前年度の職員の勤務時間等の情報を収集し、実施に向けて取り組んでいる。



全国の学校における
働き方
改革
事例集
(令和5年3月改訂版)

【好事例を紹介します！】

- ・授業準備に千葉県教育委員会学習コンテンツを活用する。
ちばっ子チャレンジ100(小学生向け)
→<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/challenge.html>
ちばのやる気学習ガイド(中学生向け)
→<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/yaruki.html>
○期待できる効果 授業準備の短縮
- ・情報収集簿にFormsを活用する。
○期待できる効果 紙が減る 時間短縮 取りまとめ作業の軽減

3 働き方改革事例集 活用のススメ

上記の【取組4】の達成のために役に立つのが「全国の学校における働き方改革事例集(令和5年3月改定版)」です。「Part1 わたしたちの働き方改革」には小・中学校での実践やインタビュー、動画のリンクが掲載されており、ICT活用や特別業務職員(SSS)との連携について具体的なイメージをつかむことができます。また、「Part2 実例で知る業務改善の具体的方法」には、全国の学校、教育委員会から寄せられた「取組事例」が「取組リンクリスト①～⑤」に数多く紹介されています。学校の実態に応じてアレンジしながら、業務改善に役立ててください。

【学校レポート わたしたちの働き方改革(動画)】

- <https://www.youtube.com/watch?v=2Ksxn1BNu30> (教職員間の情報共有における課題をICTで解決へ)
- <https://www.youtube.com/watch?v=v1hLJP1FfSs> (「学びを止めないICT」から「働き方改革のICT」へ)
- <https://www.youtube.com/watch?v=ll9O15I2xq8> (教員業務支援員の活用で教師の負担軽減を)

☆元気を保つためのヒント☆

気持ちが前向きにならないときは、抱えている問題の原因探しをしてしまい、自分の弱さや失敗ばかりを考えてしまいがちになります。客観的に見れば、うまくいっていることもたくさんあるはずなのですが、当事者はそちらに目を向けることができません。

職員集団もうまくいかないときは、ネガティブに考えてしまうものです。少し離れて俯瞰する目を持ってみましょう。

「うまくいっていること」に目を向けてみましょう！

誰もが「こんな学級にしたい」「こんな授業をしたい」等の思いがあるはずですが、しかし、問題を抱えていると『やりたいこと』には目が向かないものです。では、どうすればよいのでしょうか？

まずは、やりたいことの実現のために少しでも行動を起こすことです。どんな小さいことでもよいので続けられることに取り組んでみましょう。

もしかしたら、一人の力では無理かもしれません。仲間(同僚・友達・家族等)の力も必要かもしれません。思い切って声に出し、一緒にやってみるのもよいかもしれません。一歩踏み出してみましょう。

